



# **SnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Server**のインストール

## SnapCenter Software 5.0

NetApp  
October 15, 2025

This PDF was generated from [https://docs.netapp.com/ja-jp/snapcenter-50/protect-scsql/task\\_add\\_hosts\\_and\\_install\\_snapcenter\\_plug\\_ins\\_package\\_for\\_windows.html](https://docs.netapp.com/ja-jp/snapcenter-50/protect-scsql/task_add_hosts_and_install_snapcenter_plug_ins_package_for_windows.html) on October 15, 2025. Always check [docs.netapp.com](https://docs.netapp.com) for the latest.

# 目次

SnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Serverのインストール	1
ホストを追加してSnapCenter Plug-ins Package for Windowsをインストールする	1
コマンドレットを使用した複数のリモートホストへのSnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Serverのインストール	4
コマンドラインからのSnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Serverのサイレントインストール	5
Plug-in for SQL Serverのインストールステータスの監視	6

# SnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Serverのインストール

## ホストを追加してSnapCenter Plug-ins Package for Windowsをインストールする

ホストの追加およびプラグインパッケージのインストールには、 SnapCenter \* ホストの追加ページを使用する必要があります。 プラグインはリモートホストに自動的にインストールされます。

開始する前に

- SnapCenter Admin ロールなど、 プラグインのインストールとアンインストールの権限のあるロールが割り当てられているユーザが必要です。
- 組み込みでないクレデンシャルを指定してWindowsホストにプラグインをインストールする場合は、 ホストのUACを無効にする必要があります。
- メッセージキューサービスがrunning状態であることを確認する必要があります。
- グループ管理サービスアカウント（gMSA）を使用する場合は、 管理者権限でgMSAを設定する必要があります。

["Windows Server 2012 以降で SQL 用のグループマネージドサービスアカウントを設定します"](#)

タスクの内容

SnapCenter サーバをプラグインホストとして別の SnapCenter サーバに追加することはできません。

ホストの追加とプラグインパッケージのインストールは、 ホストごとまたはクラスタごとに実行できます。 クラスタまたはWindows Server Failover Clustering (WSFC) にプラグインをインストールする場合、 プラグインはクラスタのすべてのノードにインストールされます。

ホストの管理については、 を参照してください ["ホストの管理"](#)。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、 **Hosts** を選択します。
2. 上部で [Managed Hosts] タブが選択されていることを確認します。
3. 「\* 追加」を選択します。
4. [Hosts]ページで、 次の手順を実行します。

フィールド	操作
ホストタイプ	<p>ホストタイプとして[Windows]を選択します。SnapCenter サーバによってホストが追加され、ホストに Plug-in for Windows がインストールされていない場合はインストールされます。</p> <p>[Plug-ins]ページで[Microsoft SQL Server]オプションを選択すると、SnapCenter ServerによってPlug-in for SQL Serverがインストールされます。</p>
ホスト名	<p>ホストの完全修飾ドメイン名 (FQDN) またはIPアドレスを入力します。信頼されていないドメインホストのIPアドレスは、FQDNに解決される場合のみサポートされます。</p> <p>SnapCenter は、DNS の適切な設定によって異なります。そのため、FQDNを入力することを推奨します。</p> <p>次のいずれかのIPアドレスまたはFQDNを入力できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• スタンドアロンホスト</li> <li>• WSFC SnapCenter を使用してホストを追加するときに、ホストがサブドメインの一部である場合は、FQDN を指定する必要があります。</li> </ul>
クレデンシャル	<p>作成したクレデンシャルの名前を選択するか、新しいクレデンシャルを作成します。このクレデンシャルには、リモートホストに対する管理者権限が必要です。詳細については、クレデンシャルの作成に関する情報を参照してください。</p> <p>指定したクレデンシャルの名前にカーソルを合わせると、クレデンシャルの詳細を確認できます。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <span style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">i</span> <p>クレデンシャルの認証モードは、ホスト追加ウィザードで指定するホストタイプによって決まります。</p> </div>

- [インストールするプラグインを選択してください \*] セクションで、インストールするプラグインを選択します。
- [\* その他のオプション \*] を選択します。

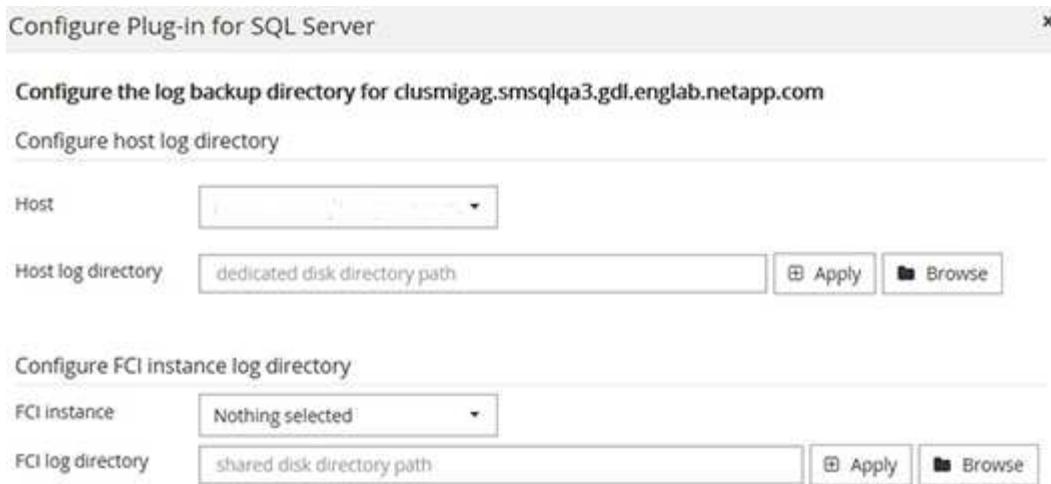
フィールド	操作
ポート	<p>デフォルトのポート番号をそのまま使用するか、ポート番号を指定します。デフォルトのポート番号は8145です。SnapCenter サーバがカスタムポートにインストールされている場合は、そのポート番号がデフォルトポートとして表示されます。</p> <p> プラグインを手動でインストールし、カスタムポートを指定した場合は、同じポートを指定する必要があります。そうしないと、処理は失敗します。</p>
インストールパス	<p>デフォルトのパスはC:\Program Files\NetApp\SnapCenterです。必要に応じてパスをカスタマイズできます。</p>
クラスタ内のすべてのホストを追加	<p>WSFCまたはSQL可用性グループ内のすべてのクラスタノードを追加するには、このチェックボックスをオンにします。クラスタ内で使用可能な複数のSQL可用性グループを管理および識別する場合は、GUIで該当するクラスタのチェックボックスを選択して、すべてのクラスタノードを追加する必要があります。</p>
インストール前チェックをスキップ	<p>プラグインを手動でインストール済みで、プラグインをインストールするための要件をホストが満たしているかどうかを検証しない場合は、このチェックボックスを選択します。</p>
グループ管理サービスアカウント (gMSA) を使用してプラグインサービスを実行	<p>グループ管理サービスアカウント (gMSA) を使用してプラグインサービスを実行する場合は、このチェックボックスを選択します。</p> <p>gMSA名をdomainName\accountName\$の形式で指定してください。</p> <p> gMSAでホストを追加し、gMSAにログイン権限とsys admin権限がある場合は、gMSAを使用してSQLインスタンスに接続されます。</p>

7. [送信] を選択します。

8. SQL Plug-inの場合は、ログディレクトリを設定するホストを選択します。

a. を選択し、【ホストログディレクトリの設定】ページで[参照]\*を選択して、次の手順を実行します。

ネットアップ LUN (ドライブ) のみが選択対象として表示されます。SnapCenter は、バックアップ処理の一環として、ホストログディレクトリをバックアップしてレプリケートします。



- i. ホストログを格納するホスト上のドライブレターまたはマウントポイントを選択します。
  - ii. 必要に応じてサブディレクトリを選択します。
  - iii. [ 保存 ( Save ) ] を選択します。
9. [ 送信 ] を選択します。

[インストール前チェックをスキップ]\*チェックボックスを選択していない場合は、プラグインをインストールするための要件を満たしているかどうかが検証されます。ディスクスペース、RAM、PowerShellのバージョン、NETバージョン、場所（Windowsプラグインの場合）、およびJavaバージョン（Linuxプラグインの場合）が最小要件に照らして検証されます。最小要件を満たしていない場合は、該当するエラーまたは警告メッセージが表示されます。

エラーがディスクスペースまたはRAMに関連している場合は、C:\Program Files\NetApp\SnapCenter WebAppにあるweb.configファイルを更新してデフォルト値を変更できます。エラーが他のパラメータに関連している場合は、問題を修正する必要があります。



HAセットアップでweb.configファイルを更新する場合は、両方のノードでファイルを更新する必要があります。

10. インストールの進行状況を監視します。

## コマンドレットを使用した複数のリモートホストへのSnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Serverのインストール

PowerShellコマンドレットInstall-SmHostPackageを使用すると、SnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Serverを複数のホストに同時にインストールできます。

### 開始する前に

プラグインパッケージをインストールする各ホストで、ローカル管理者の権限を持つドメインユーザとしてSnapCenterにログインしている必要があります。

### 手順

1. PowerShellを起動します。

2. SnapCenterサーバホストで、Open-SmConnectionコマンドレットを使用してセッションを確立し、クレデンシャルを入力します。
3. Install-SmHostPackageコマンドレットと必要なパラメータを使用して、複数のリモートホストにSnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Serverをインストールします。

コマンドレットで使用できるパラメータとその説明については、RUN\_Get-Help コマンド NAME を実行して参照できます。または、を参照することもできます "[SnapCenter ソフトウェアコマンドレットリファレンスガイド](#)"。

プラグインを手動でインストール済みで、プラグインをインストールするための要件をホストが満たしているかどうかを検証しない場合は、-skipprecheck オプションを使用できます。

4. リモートインストールのクレデンシャルを入力します。

## コマンドラインからのSnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Serverのサイレントインストール

SnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Server は、SnapCenter ユーザインターフェイス内からインストールする必要があります。ただし、何らかの理由でインストールできない場合は、Windows のコマンドラインから、Plug-in for SQL Server のインストールプログラムをサイレントモードで自動的に実行できます。

開始する前に

- をインストールする前に、以前のバージョンの SnapCenter Plug-in for Microsoft SQL Server を削除する必要があります。

詳細については、を参照してください "[SnapCenter Plug-in をプラグインホストから手動で直接インストールする方法](#)"。

手順

1. C:\temp フォルダがプラグインホストに存在し、ログインしているユーザにそのフォルダへのフルアクセスがあるかどうかを検証します。
2. Plug-in for SQL Server ソフトウェアを C:\ProgramData\NetApp\SnapCenter\Package Repository からダウンロードします。

このパスには、SnapCenter サーバがインストールされているホストからアクセスできます。

3. プラグインをインストールするホストにインストールファイルをコピーします。
4. ローカルホストの Windows コマンドプロンプトで、プラグインのインストールファイルを保存したディレクトリに移動します。
5. Plug-in for SQL Server ソフトウェアをインストールします。

```
"snapcenter_windows_host_plugin.exe"/silent /debuglog"Debug_Log_Path"
/log"Log_Path" BI_SNAPCENTER_PORT=Num
SUITE_INSTALLDIR="Install_Directory_Path"
BI_SERVICEACCOUNT=domain\\administrator BI_SERVICEPWD=password
ISFeatureInstall=SCW, SCSQL
```

プレースホルダの値をデータに置き換えます。

- debug\_log\_Path は、スイートインストーラログファイルの名前と場所です。
- LOG\_Path はプラグインコンポーネント（SCW、SCSQL、およびSMCore）のインストールログの場所です。
- num は、SnapCenter が SMCore と通信するポートです
- install\_Directory\_Path は、ホストプラグインパッケージのインストールディレクトリです。
- domain\administrator は、SnapCenter Plug-in for Microsoft Windows の Web サービスアカウントです。
- password は、SnapCenter Plug-in for Microsoft Windows Web サービスアカウントのパスワードです。  
+ "snapcenter\_windows\_host\_plugin.exe"/silent  
/debuglog"C:\HPPW\_SCSQL\_Install.log" /log"C:\BI\_SNAPCENTER\_PORT=8145  
SUITE\_INSTALLDIR="C:\Program Files\NetApp\SnapCenter"  
BI\_SERVICEACCOUNT=domain\administrator BI\_SERVICEPWD=password  
ISFeatureInstall=SCW,SCSQL



Plug-in for SQL Server のインストール時に渡されるすべてのパラメータでは、大文字と小文字が区別されます。

6. Windowsタスクスケジューラ、メインインストールログファイルC:\Installdebug.log、およびC:\Temp内の追加インストールファイルを監視します。
7. %temp%ディレクトリを監視して、msiexe.exeインストーラがエラーなくソフトウェアをインストールしていることを確認します。



Plug-in for SQL Server をインストールすると、SnapCenter Server ではなくホストにプラグインが登録されます。SnapCenter GUIまたはPowerShellコマンドレットを使用してホストを追加することで、SnapCenterサーバにプラグインを登録できます。ホストを追加すると、プラグインが自動的に検出されます。

## Plug-in for SQL Serverのインストールステータスの監視

SnapCenterプラグインパッケージのインストールの進捗状況は、[Jobs]ページで監視できます。インストールの進捗状況をチェックして、インストールが完了するタイミングや問題が発生していないかどうかを確認できます。

タスクの内容

以下のアイコンがジョブページに表示され、操作の状態を示します。

- 実行中
- 完了しました
- 失敗
- 完了（警告あり）または警告のため開始できませんでした
- キューに登録済み

## 手順

1. 左側のナビゲーションペインで、 **Monitor** をクリックします。
2. [\* Monitor\*] ページで、 [\* Jobs] をクリックします。
3. [ジョブ] ページで、 プラグインのインストール処理のみが表示されるようにリストをフィルタリングするには、次の手順を実行します。
  - a. [\* フィルタ \* (Filter\*)] をクリック
  - b. オプション：開始日と終了日を指定します。
  - c. タイプドロップダウンメニューから、 \* プラグインインストール \* を選択します。
  - d. [Status] ドロップダウンメニューから、 インストールステータスを選択します。
  - e. [適用 (Apply)] をクリックします。
4. インストールジョブを選択し、 [\* 詳細 \*] をクリックしてジョブの詳細を表示します。
5. [\* ジョブの詳細 \*] ページで、 [\* ログの表示 \*] をクリックします。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。